

何を使う

機器 タブレット、スマートフォン

ソフトウェア（アプリ）

- xender
- 見比べレッスン（大修館）※本校で導入を検討中



それをどう使う（それで何ができる）

- xender は、アプリがあれば異なる機種同士でも瞬時に、オフラインで動画や画像、音源共有することができるアプリ。
- 再生時間を遅くすることで、細かい振り付けまで分析することができる。
- 生徒のダンスを動画で撮影することができる。
- 生徒が見本動画と自身の動きを比較し、改善点を発見することができる。
※見比べレッスンを使用できれば、同時再生が可能になるため改善点の発見が容易になる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 体育「ダンス」

【 Before 】

- 事前にインターネット環境がある場所で、生徒個人のスマートフォンと動画を共有するか、スクリーンに映す



【 After 】 メリット

- 瞬時に動画や音源を共有できるので、見本動画と自らの動きの違いに気付くことができるなど、自分や他者の課題を発見する力や、合理的な動き方について分析する力が育成される。
- グループ活動で用いることによって、他者への評価やフィードバックを行うことができ、その過程で対話力を向上させることができる。
- 動画を共有する時間が短縮されるため、教員の負担が軽減される。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○							○
	3人程度のグループで1台								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		体育科		
		○	○		活用が想定される場面		実技		